

健康な暮らしを体感するサイト“奄美生活”  
(鹿児島県奄美市)  
<http://amami-life.jp/>

〔概要〕

健康な生活をテーマとして、生活スタイルや食生活などに健康管理にとどまらず、健康食材やレシピの紹介、健康ツアーや商品企画、健康図書館、健康天気予報といった多面的な取り組みを行っている。

〔コラム〕

本サイトは、平成19年度から総務省「地域ICT利活用モデル構築事業」を活用し構築されています。

奄美市では「奄美の健康な暮らしに根差したビジネスモデル構築事業」をテーマに、奄美地域の特徴的な食材の定量的な評価データの普及や様々な商品・サービスに対する地域内外からの評価の場としての活用、生産者の顔を伝え生産者と消費者の架け橋となる情報発信の場を創出する目的で推進されました。平成19年度の事業開始直後から、鹿児島大学や琉球大学の学識経験者をはじめ、地元観光産業関係者や地域婦人グループが参画した「奄美の健康な暮らしに根差したビジネスモデル構築協議会」を発足し、各分野の意見を反映させる事業体制を構築し、サイトの内容充実に努めてきました。

その中でも、特徴的な取組として、本市における子育て世代への支援を目的としたコミュニケーションコンテンツを制作し、携帯サイトも連動したきめ細かな情報発信を可能にするとともに、移住者や転勤者が地域で孤立しない支援体制を構築しました。

また、観光情報収集にも活用できる地図情報と連動させることで、今後の移住希望者等にも有益な情報収集ツールとしての可能性が創出されました。

平成21年12月には、最終的なサイト更新が実施され、今後は内容のさらなる充実を図るとともに、会員数のさらなる増加による住民生活に密着した情報発信の実現と、本サイトを活用した観光客等の新たな魅力の発見、地域食材・製品の良さを定量的・定性的に伝えていくことが期待されています。

〔制作費（うち公的な補助額）〕

108百万円（全額：総務省）

(奄美生活のホームページより)



(問い合わせ先)

奄美市商工観光部商水情報課

TEL : 0997-52-1111 (内線 1424)

e-mail : [ict@city.amami.lg.jp](mailto:ict@city.amami.lg.jp)

**情報通信基盤を活用した  
アーティスト・イン・レジデンスの活性化**  
(徳島県神山町 神山アーティスト・イン・レジデンス実行委員会)

〔概要〕

神山町では、平成11年度より国内外から芸術家を招へいし、町内の豊かな自然のなかでの創作活動を支援する「神山アーティスト・イン・レジデンス（KAIR）」事業を展開している。このKAIR事業については、平成16年度に総務省補助事業で整備した加入者系光ファイバ網により活性化を図っている。

〔コラム〕

1) KAIRの参加受付

アーティスト・イン・レジデンスの参加受付について、これまで芸術作品の内容確認のため海外から郵送で膨大な写真を送ってもらっていたが、光ファイバのインフラが整い、電子メールを活用して全世界からリアルタイムで受け付けることができ、相手方からの確認事項等にも迅速に対応ができるようになりました。

2) 世界に向けた情報発信

海外の芸術家たちが、KAIRにおける創作活動を自国に向けて情報発信することで、芸術の世界において「世界の神山」としてのブランド化に繋がります。

3) 芸術家たちと帰国後の継続した情報交換

KAIRで芽生えた交流を一過性のものとして終わらせないため、海外の芸術家たちが自国へ帰国したのちも、ネットを活用した電子会議でリアルタイムに情報交換を行っています。

参考 URL <http://www.in-kamiyama.jp>

〔総務省補助事業（加入者系光ファイバ網設備整備事業）〕

神山町・佐那河内村連携

830百万円（国213百万円：県106百万円：市町村511百万円）

## KAIRの活動の様子



(問い合わせ先)

神山アーティスト・イン・レジデンス実行委員会 (NPO 法人グリーンバレー)

Tel : 088-676-1177

地域SNS基盤連携ネットワーク  
(インフォミーム株式会社)  
<http://asp.opensnp.jp/>

〔概要〕

SNSは、人と人のつながりを促進・サポートするコミュニティ型の会員制のサービスで、個人と個人を接続するものであるのに対して、OpenSNPは地域や団体の活動に活用できるグループウェアとして設計。機能面では、基本的なSNS機能に加え、情報を発信者がコントロールするアクセス制御・コメント制御、地域のさまざまなニュースを判りやすく見せるマップ・イベントカレンダー連動機能、簡単にムービー登録ができる「動画配信機能」など、情報の発信・交流機能を充実。また、デジタルサイネージの設置コストを5割から8割以上ダウン、運用コストをゼロにした画期的な「SNSサイネージ」機能を実装しました。平成25年春には、FacebookやTwitterなどのグローバルなソーシャルメディアとの融合機能を組み込み、地域の情報循環と情報コンテンツの地産地消を実現します。

「日経地域情報化大賞2008」大賞受賞

〔コラム〕

OpenSNPは、インフォミーム社によって平成18年4月から開発に着手、同年10月に兵庫県域の地域SNS「ひよこむ」のエンジンシステムとして登場して以来、館山・伊丹・盛岡・松江・佐用・三田・宍粟・横浜・熊谷・葛飾・世田谷・尾道・宇部・東峰・桐生・坂井・鶴ヶ島・春日井・山武など全国30を越える地域SNSに採用され、計2万人以上の人々が日々のコミュニケーションに活用しています。OpenSNPが高い評価を受けている理由は、単に人と人の交流を促進するだけでなく、

- ① 地域の人材育成・協働を創発する環境の創造することができる
- ② 便利で安全なネットワークを構築する運営技術がある
- ③ 地域の枠を越えたリソース連携を実現するプラットフォーム基盤の提供するなど、他のSNSエンジンではなしえなかった地域のソーシャル・キャピタルを覚醒させる統合環境を顕在化することができるからです。

今後は、「地域活性」だけでなく「地域防災」に関する事例を深め、より地域課題の解決に即した先進技術の実装とICTの活用手法の開発・提供を行っていきます。また、「ほどよい閉鎖性」を持つ信頼できる地域SNSサイトによるネットワーク連携は、コンテンツの地産地消のプラットフォームとして成長を続けていくものと期待されています。

〔制作費（うち公的な補助額）〕

開発費は、約50百万円（3,000千円：兵庫県）

運用費（税込）は、初期費用103千円～、月額運用費30,9千円～

（openSNP 運用事例・兵庫県地域SNS「ひよこむ」のホームページより）



（左・トップページ、右上・動画配信機能、右下・SNSサイネージ機能）

<http://hyocom.jp/>

（問い合わせ先）

インフォミーム株式会社

TEL. 079-295-2700 e-mail : info@memenet.or.jp

村ぶろ  
(和歌山県北山村)  
<http://www.murablo.jp/>

〔概要〕

人口約 500 人の村が運営する全国で初めて自治体で開発され、運営されてきたブログポータルサイト。

北山村の情報ポータルと南紀地方を中心としたブログユーザーで構成され、北山村をはじめとする南紀地方での物産、観光情報やブロガーによる観光地や農山村での日常生活などの情報発信が行われている。

また、「村ぶろ」の系列システムが導入されている地域との情報の連携機能を提供し、地域活性化のセンターとしての役割を担っている。

無料で会員登録をすれば、簡単にブログが作成できる。登録会員数は、現在約 17,000 人、一日のアクセス数 (PV) は 100,000 件程度であり、安定している。

現在、運営管理は非営利活動法人に委託を行っており、また維持管理費用は「村ぶろ」の基本システムである「むらぶろシステム」のライセンス収入及び運営サポート、サーバー費用等で賄っている。

日経地域情報化大賞 2007「日経MJ（流通新聞）賞」受賞

平成 22 年度情報通信月間総務大臣表彰 受賞

平成 22 年度地域づくり総務大臣表彰 受賞

関西ウェブサイト大賞 2011「優秀賞」受賞

〔コラム〕

本ブログシステムは北山村の情報をはじめとして、南紀、熊野の地域密着型ブログシステムとして和歌山県中南部、三重県南部、奈良県南部の市町村と連携して運用されています。

じゃばら製品に関する情報やラフティング、筏師や観光筏下りなどの北山川周辺の観光情報など北山村の情報発信を中心に、地域の物産をはじめとし、熊野古道やジオパーク、地域の日常生活など南紀の文化や観光、産業にかかわる地域情報の発信を行なっています。

また、各地域ごとのポータルを提供することで、北山村と南紀熊野に全国の眼を引き付けるための地域マーケティングを行うためのインターネットを活用したシステムとなっています。

地域産品であるじゃばらの販売促進からはじまった当サイトですが、現在は地域情報の発信と地域のマーケティングの支援を行ない地域活性化と地域間連携を担う情報サイトとなっています。

現在、「村ぶろ」を母体とした「むらぶろシステム」として、地域情報発信に活用されるブログシステムと、地域産品の販売に活用されるショップシステムがあり、自治体、NPO、地域団体など 6 団体に提供されており、導入提供地

域を中心とした地域間の交流を行なうなど、地域と地域間での連携の活性化を支援しています。

むらぶろシステムの導入までに至っていない地域に対しては、当システムの機能を活かして低コストで地域ポータルが運用できる機能も提供しています。

また、2013年9月から運用を開始しているグローバル機能を使うことで、地域間連携の一環として、「むらぶろシステム」が導入されている地域のユーザー同士の情報交換機能を提供するとともに、同時期よりスマートフォン用のユーティリティの提供開始、フェイスブックを利用したの情報拡散など、地域のマーケティング活動のお役に立てる総合情報発信システムとして展開しています。

むらぶろシステムは全国の地域マーケティングの支援ツールとして、全国でご活用いただけるよう、各地域に向けて展開活動を行っています。

〔制作費（制作費の内、公的（国・県・市町村等）機関からの補助額）〕  
40百万円（3330千円：和歌山県）

（村ぶろホームページより）

じゃばらファンに朗報！じゃばらを使った「じゃばら酒」誕生！

The screenshot shows the Muraburo website interface. At the top, there's a navigation bar with links like 'ロこみマップ', '村じよぶ', '村こみゆ', and '村ぶろって何?'. The main content area includes a large banner for a 'Muraburo' award, a '最新ニュース' (Latest News) section with dates and titles, and a '村ぶろサービス' (Muraburo Services) section. On the left, there's a 'コメントランキング' (Comment Ranking) section listing popular posts. On the right, there's a 'ログイン' (Login) form with fields for '村人ID' and 'PASS', and a '新着ブログ' (New Blog) section listing recent posts with dates and times.

（問い合わせ先）  
和歌山県北山村役場  
Tel : 0735-49-2331 e-mail : murabito@murablo.jp



一般誌から専門誌までさまざまな雑誌を提供する雑誌専門サイト  
(株式会社富士山マガジンサービス)

<http://www.fujisan.co.jp/>

〔概要〕

さまざまな雑誌をワンストップで申し込める「雑誌の専門サイト」。月刊誌・週刊誌から年刊発行の雑誌や中国雑誌まで10,000誌以上を取り扱っているほか、パソコンやiPad/iPhone、Androidのスマートフォンやタブレット端末で読める雑誌「デジタル雑誌」を国内最大級の2000誌以上を販売し、600誌以上の無料サンプルを展開している。「求められる雑誌を、求めている人に、求められるカタチと、求められるタイミングで」をスローガンに、一般誌から専門誌まで雑誌なら何でも見つかるサービスを目指している。

〔コラム〕

まとめられている優良な情報が詰まった雑誌というコンテンツがあるにもかかわらず、その手軽さから情報を求めるユーザはインターネットにシフトしてしまい、雑誌を見る機会が減ってきてしまっているのを感じ、雑誌とインターネットユーザを結びつける役割として、「デジタル雑誌」のサービスを開始しました。

誌面は紙版と同様ですが、デジタル版ならではのリッチな機能が多数搭載されています(動画、音声再生、雑誌内検索、付箋・メモ機能など)。ストーリーミング型のサービスをしていますので、インターネットの環境さえあれば、いつでもどこでもデジタル雑誌を楽しむことができます。また、今までの雑誌の読み方はパラパラめくって気になった記事を読むか、目次を見て気になった記事を読む、というようなことが多かったかと思いますが、デジタル雑誌になることで、検索をしてダイレクトに目的の記事を読む、という新しいスタイルが生まれてきています。iPad/iPhone、Androidにも対応していますので、専用アプリ「FujisanReader」をインストールしていただければ、移動中でもスマートフォンやタブレット端末などでデジタル雑誌を楽しむことができます。

バックナンバーも2万冊以上販売しているので、もう手に入らない過去の号もいつでも購入可能です。紙を使用しないのでエコに関心のあるお客様や、購入後即閲覧でき配送を待たずに読めるお客様などから良い評価をいただいております。海外などの遠隔地にいるお客様など、雑誌の入手が困難な方からも大変喜ばれてご利用いただいております。

【タダ読み】サービスでは、2,000冊以上の雑誌を無料で読むことができますので、今まで知らなかった雑誌との新しい出会いを創ることができており、すでに20万人以上の方にご利用いただいております。

デジタル雑誌を提供することで、雑誌自体のプロモーションにもつながり、紙版の売上にも良い影響が出ています。

最近では、[紙+デジタル]という購読スタイルも定着してきており、紙の雑誌は自宅に届けてもらい、外出先や移動中などはデジタル版を楽しみ、バックナンバーはデジタル版で保管するので保管場所に困らないという点でもご好評をいただいております。

(株式会社富士山マガジンサービスホームページより)

(問い合わせ先)  
 株式会社富士山マガジンサービス  
 TEL : 03-5459-7072 e-mail : info@fujisan.co.jp

(新規事業・新ビジネスの創出－6)

# 引越れんらく帳 (東京電力株式会社) <http://www.hikkoshi-line.jp/>

## 〔概要〕

引越し手続きの連絡先を引越先住所から検索して、「マイ引越れんらく帳」(手続き先チェックリスト)を作成、手続きに必要な事項を入力することで、電気、水道、都市ガス、電話、NHK、クレジットカード、新聞、などの提携事業者への引越し連絡を一度で済ませることができ、引越時の負担軽減に役立ちます。

## 〔コラム〕

平成14年、引越し手続きに対するお客さまニーズにお応えする目的で、サービスを開始。国内初のサービスのため、提携事業者に趣旨をご理解いただきながら、手続き可能な事業者を増やしてまいりました。引越し手続き情報の連携方式は、事業者ニーズ(技術面、運用面)およびユーザビリティを考慮したものとなっております。なお、平成24年度は、約12万人の方に引越れんらく帳をご利用いただきました。スマートフォンへの対応も始まり、順調に利用者数が伸びております。利用者アンケートでも約97%の方から「一括手続きが便利そう」「手続き忘れを防げそう」とのご感想をいただいております。

今後もお客さまの利用拡大に向けて、全国大での引越し手続きネットワークの構築を推進してまいります。

(東京電力株式会社のホームページより)



(スマートフォン画面)



(問い合わせ先) 東京電力株式会社 TEL : 03-6373-5064  
e-mail : support@hikkoshi-line.jp